

令和4年度 第2回大和市予防接種運営審議会 議事録

日時:令和5年2月3日(金)午後7時30分から午後8時40分まで

場所:大和市地域医療センター 2階 講習室

出席者:委員 6人:玉井会長、横田委員、上田委員、出口委員、大久保委員、粟生委員

(欠席者:芳沢委員)

事務局 9人:新比叡健康福祉部次長、目代健康医療調整官

医療健診課:山中医療健診課長、羽鳥健康診査・がん予防・新型コロナウイルス対策係長、

矢野主査、鈴木主査、藤川主査、松田保健師

新型コロナウイルスワクチン接種担当:鈴木新型コロナウイルスワクチン接種係長

1. 開会

2. 挨拶

新比叡次長

本日は、公私ご多忙のなか、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルスの感染者数が依然として高いレベルで推移する中で、今季はインフルエンザの患者報告数も増加傾向にあります。こうした状況を踏まえ、本市ではインフルエンザワクチンの接種期間を1月まで延長したところでございます。冬場の患者様が增える時期にも関わらず、協力医療機関皆様には多大なるご協力を賜り、あらためて御礼申し上げます。

また、今年度より積極的勧奨を再開した HPV ワクチンは、来年度から9価のワクチンを使用することが国で承認されたほか、4種混合ワクチンも同じく来年度より生後2か月からの接種が可能になるなど、予防接種の制度は目まぐるしく変化しております。こうした変化に対して市民が混乱することなく、ワクチンの効果と副反応を正しく理解し、安全に接種できるよう、委員の皆様からご意見、ご指導等をいただきたいと思います。簡単ではございますが、本日の予防接種運営審議会が有意義な場となるよう、活発な議論をお願いし、挨拶に代えさせていただきます。

山中医療健診課長

本日の出席状況について、委員7名中6名の出席。過半数に達しており、大和市予防接種運営審議会規則第5条第2項の規定により、会議が成立していることを報告します。

玉井会長

新型コロナウイルス感染症に加え、インフルエンザウイルスの対応でお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。大和市の予防接種に関して正確かつ活発な意見交換ができるようご協力をお願いいたします。

3. 報告 ○:委員 ●:事務局

1) 定期予防接種実施状況

①. 各定期予防接種 年度別接種件数及び接種率について説明(資料1-1-1)

②. 各定期予防接種 出生年度別接種者数及び接種率について説明(資料1-1-2)

臨時予防接種実施状況

①. 臨時予防接種における年代別接種件数および接種率について説明(資料1-2)

2) 間違い報告等について

①. 定期予防接種(資料2-1)

②. 臨時予防接種(資料2-2)

3) 大和市予防接種情報提供サービス「らくらく予防接種」登録状況報告

①. 登録状況報告(資料3)

意見・質問等

- : 日本脳炎予防接種について。市外から転入されてきた方で6か月から接種を開始されているケースを多く見かけるが、3歳未満で接種をしている件数は分かるか。
- : 本日用意した資料には3歳未満の接種件数は載せていない。大和市では標準的な接種年齢である3歳に到達された方に予診票を送付しているため、3歳以上の接種者数が圧倒的に多いが、自治体によっては生後6か月から早期に接種を開始している場合もあるので、転入されてきた時点で3歳未満であってもすでに接種をされている方はいらっしゃる。
- : 最近増えているなどの傾向は分かるか。
- : 毎月市内医療機関から予診票を提出いただいているが、日本脳炎の3歳未満の接種報告件数は、月に1件あるかどうかという印象。また、3歳未満で接種される場合に医療機関で記入いただいている接種理由によると、直近で海外に行かれる予定があり、早期に接種をされたというケースがあることは把握している。

- : HPV ワクチンの接種率が低いことに関して。接種勧奨をしても接種率が低いことが問題ではないか。医師会でも懸念している。喫緊の問題と思うが接種率を上げるための計画は何か考えているか。
- : キャッチアップ対象者と定期接種対象者に一度は勧奨通知を送ったが、再勧奨はまだ実施していない。今後は接種率向上に向け、再勧奨とともに9価ワクチンの定期接種化の情報提供を含めて送付することを計画している。
- : 2種混合ワクチンを接種されるお子さんやその親に「HPV ワクチンを打ちましょう」と話をすると、半分ほどは「打ったほうがいいんでしょうか。」という反応が見られる。消極的な考えがある方に勧奨しても伸びには結びつかないのでは。例えば学校で「接種をしましょう」と声掛けをするなど少し踏み込んだ積極的なことをしないと、HPV ワクチンは将来的に非常に重要なワクチンなので全国的な問題だと思いがいかか。
- : 今後の接種状況を見ながら、接種勧奨を行っていきたいと考えている。なお、今年は新中学1年生の保護者へ入学説明会の際、担当者よりHPVワクチンの接種について説明をさせていただいている。今年の4月から9価ワクチンの定期接種化が始まるころだが、中には定期化を待っている方もいらっしゃると思うため、どのように勧奨するかも考えながら対応していきたい。
- : マスメディアを使う、広報やまをもっと活用するなど、もっと媒体を使ってインパクトのある宣伝をしても良いのではないかと思う。もっと積極的にやらないと伸びないと思う。
- : 個別通知だけでなく、広報やまをもっと活用していただくほか、先ほどの提案にもあったが教育委員会との連携なども効果的なのではないだろうか。ぜひ検討していただければと思う。

- : 資料2-2にある臨時予防接種に関する副反応報告の件数について。合計75件のうち重大な副反応報告に含まれるものはどれくらいあるのか。発熱や痛みなど半分以上の方が起きていると思うが。
- : 予防接種後副反応疑い報告書で、症状の程度が「重い」と記入されている件数は12件あった。その中には障がいにつながるおそれが3件、入院が5件含まれている。
- : ワクチンとの因果関係までは証明はされていないということでしょうか。
- : いずれも報告時にその症状があったという報告であるため、因果関係の有無は不明。

4. 議題

- 1) 令和5年度大和市予防接種事業計画案(資料4、参考資料1・2)
今後の新型コロナウイルスワクチンの接種について(報告資料)

意見・質問等

- : HPV ワクチンの9価ワクチンの定期接種化に伴い、交接種の旨を予診票に記入すべきか。
- : 医師の判断の下、交接種は可能としているが、予診票の記載方法については検討させていただきたい

5. その他連絡事項

- 1) 令和5年度予診票の変更点について(資料5-1)

- 2) BCG 予防接種の実施に係る研修会実績報告について(資料5-2)

- 3) 令和5年度からの成人風しん予防接種の一部公費助成制度の運用方法について

○: 電子申請を受け付けるとあるが、今後は接種記録を確認する際は窓口において確認するということか。

●: 電子申請についてはご自身の接種記録を画像添付していただく等対応を検討している。窓口で直接確認させていただくのが一番確実ではあるが、システムの制限や利便性等を考慮し、検討したい。

○: 男性側は「妊婦の夫」となった時点で制度の対象となるが、このタイミングで接種して間に合うのか。

●: 先天性風しん症候群を予防する観点で男性の接種機会を提供するための一つの方法だと考えている。妊娠を希望する女性の夫やパートナーについては、神奈川県が無料で抗体検査を実施しており、まずはそちらの制度を活用していただければと思うが、本市の助成対象者については今後検討していきたい。

○: 難しい課題が多いと思うが、ぜひ検討していただきたい。

○: 申請書の申請区分について、妊娠中の女性の夫の部分に戸籍上の夫でなくとも、事実上の婚姻関係にあると認められる者を含むとある。他方、周知用のポスターには妊婦の夫又はパートナーとあるが、書き方を変えているのには理由があるのか。

●: 意図的に変えているものではないので、今後わかりやすいように統一したい。

- 4) 予防接種法の改正に伴う事務手続きの変更について

- 5) 次回の開催について

●: 次回の開催は令和6年1月下旬を予定。

- 6) ムンプスワクチンについて

○: 毎回この場でお願いしている状況だが、現在任意接種とされているムンプスワクチンについて、一部でも良いので助成をしていただけないか。近隣市で助成をしているところもあるので、大和市でも再度ご一考いただきたい。

6. 閉会